

12/4
福

生活保護の受給 全国最多を更新

9月、本県は9190世帯

厚生労働省は3日、全国で生活保護を受けているのは9月時点で前月比2123世帯増の161万1953世帯となり、過去最多を更新したと発表した。受給者数も前月から1757人増え、216万4909人だった。福井県は3196世帯、受給者数4107人。前年同期比で122世帯の増、145人の増。5年前に比べると、それぞれ約1・4倍、約1・5倍増加した。

全国の世帯別（一時的な保護停止を除く）では、増え続けている65歳以上の高齢者世帯が前月比1996世帯増の75万9114世帯となり、全体の47%。福井県は1570世帯で、全体の49%を占める。働ける世帯を含む「その他の世帯」は前月から594世帯減って28万387世帯だった。

景気回復で就労して生活保護を脱却する人が増える一方、低年金や無年金が原因で生活保護を受給する高齢者は増加傾向が続いている。厚生労働省は「働ける世帯では雇用情勢改善の影響が顕著に出ている」ようにみる。